

ワークサンプル作業検査(神奈川県版)等による 支援機関への支援を目的とした職業能力評価 の取組みについて



- 佐藤 守(神奈川県障害者雇用促進センター 雇用促進課 主任専門員)
堀内 富士江・深水 豊子・高橋 悦朗・熱田 郁子・富田 香美・福田 麻奈美
(神奈川県障害者雇用促進センター)

■ 当所の沿革・直近の組織改編

● 神奈川県産業労働局の機関

- 昭和47(1972)年 労働相談センター
- 昭和55(1980)年 職業相談センター
- 平成7(1995)年 障害者就労相談センター
- 平成29(2017)年 障害者雇用促進センター

● 直近の組織改編の理由

直接支援・求人開拓から



企業支援・支援機関支援へ

■ 当所のパンフレット

当センターは、**障がい者雇用**をサポートする神奈川県の機関です。



企業のみなさまへ

普及啓発のための訪問

日程調整のうえ、当センター職員が伺います。障がい者雇用の課題などをお聞かせください。雇用への取組みのお手伝いをいたします。

見学コーディネート

障がい者を雇用している企業の見学、就労支援機関の見学など、ご要望に応じて見学会を調整いたします。

社会保険労務士による出張相談

障がい者雇用に関して、雇用契約の形態や、労務管理など、県内の経験豊富な社会保険労務士による相談を調整いたします。

出前講座

ご希望に合わせて講座を出張開催いたします。

講座テーマの例

- 障がいの理解(概論)
- 助成金などの理解
- 合理的配慮の理解
- 仕事の創り出し
- 雇用上の留意事項
- 面接時の配慮事項
- 雇用事例紹介
- 支援機関との連携

出前講座は、**どのステップでも**利用できます

障がい者雇用のステップ 例

理解

障がい特性や制度の理解

例) 就労支援機関の見学

準備

見学・職場体験実習受入れ
(就労支援機関、訓練機関など)
仕事の創り出し・社内理解を得る

例) 出前講座

求人

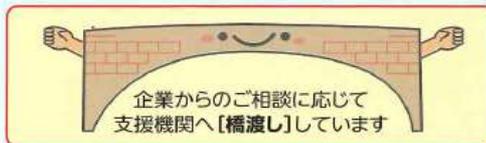
求人登録、合同面接会など

採用

就労支援機関との連携

定着

雇用の継続への取組み



当センターのポータルサイトもご活用ください!

ともに歩むナビ

検索



就労支援機関のみなさまへ

職業能力評価(支援機関からの申込みによる)

職業適性や課題を理解するため、支援機関を利用している方の職業能力を評価し、就労に向けたアドバイスをいたします。



ワークサンプル作業検査(神奈川県版)、厚生労働省編一般職業適性検査、OA検査(幕張版)

出前講座

ご希望に合わせて講座を出張開催いたします。

講座テーマの例

- 障がい者雇用の現状
- 就労準備性
- 企業との連携
- 職業能力評価について



■ 職業能力評価の対象者

- 就労支援機関等を利用する障がい者及び障がい者手帳取得の可能性がある者
- 就労支援機関等が就労支援を行うに当たって必要と判断する者
- 職業能力評価の実施に同意している者
 - 上記のすべてに当てはまる者で、障がい者手帳の有無は問いません。申請中、評価後に申請予定の場合もあります。
 - 昨年度の利用者割合は、精神障がい者、発達障がい者を合わせて約7割となっています。

■ 職業能力評価 実施の流れ

- ① 支援機関から電話等により相談受付
 - ② 支援機関から評価依頼書收受
 - ③ 担当者決定
 - ④ 初回面接実施（支援機関の担当者、本人）
 - ⑤ 評価実施（例：1回2時間程度のワクで5～6回来所）
 - ⑥ 評価結果を所内の評価会議に提出
 - ⑦ 評価結果説明（支援機関の担当者、本人）
- * 評価を終了した半年後以降、フォローアップのために支援機関から聴き取りを実施

■ 実施している評価等〈1〉

- ① ワークサンプル作業検査(神奈川県版)〈個別〉
36項目の組立や仕分けなどの作業があり、ほとんどの場合25～30項目実施
- ② ワークサンプル作業検査(神奈川県版)〈集団〉
4～6名で行う部品分解、ベルトコンベアを使った部品組立の共同作業
(個別作業「牛乳瓶の運搬」も同じ時間帯に実施)
- ③ 厚生労働省編一般職業適性検査(GATB)
年間で日程を決めて集合形式で筆記・器具検査を実施
知的障がいがある対象者などは個別で実施する場合あり

■ 実施している評価等〈2〉

④【改訂版】ワークサンプル幕張版(簡易版)

- ・ OA作業
- ・ 事務作業(数値チェック、物品請求書作成)

⑤ 職業レディネス・テスト(職業興味検査)

担当者が個別に実施

⑥ 心理検査(性格検査等)

精神障がい及びその周辺領域の対象者のなかで、依頼機関と相談し、本人の意向を確認のうえ実施 年間10名程度

⑦ その他

評価以外として、生活管理状況等を記載する「就労準備セルフイメージリスト(神奈川県版)」を作成していただく場合あり

■ ワークサンプル(神奈川県版)の主な作業



同種の引っかけ



小ラベルの貼付



ナスの袋詰め



リネン紐かけ



パターン組立



ビニールタイの同数5分割



伝票による品出し



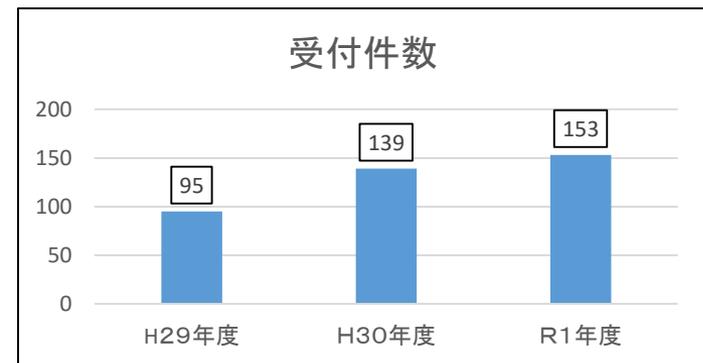
加速コンベアへの部品並べ



穴あけ

■ 実績・依頼機関からのフィードバック

- 右表のとおり、受付件数は増加傾向にある。令和元年度は新型コロナウイルス対策により、2月末から受付を中止。
- 依頼は、就労移行支援事業所、障害者就業・生活支援センター、地域就労援助（支援）センターを合わせて約7割となっている。
- フォローアップ時に、依頼機関から「強みがわかり就労につながった」「特性・配慮事項が明確になった」等の話あり。遠方の機関からは「交通の利便性が良くない」との声もあった。



■ まとめと課題

- 件数の増加や依頼機関からのフィードバックから、評価に対する一定のニーズがあると受けとめている。複数の評価を総合的に実施していることで、よりの確な評価となっていることが、役立っている理由の一つだと考えている。
- 特に就労移行支援事業所はアセスメント機能を有している機関であり、評価と併せて支援力向上を目的としたスタッフ研修の必要性があると考えている。
→ 他の就労支援機関を含めて今年度に研修を計画
- 広域の依頼に対応できるよう検討をすすめることが、今後の課題の一つである。